

# 茨城県生協連ニュース 臨時号 No.6

## 茨城県豪雨災害復興関連情報 がんばろう！

2015年9月17日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館 5F 電話 029(226)8487

今回は常総市ボランティアセンターに派遣しているいばらきコープ佐藤さんからの報告です。

### <常総市災害ボランティアセンターへの派遣支援報告>

9/16(1日目)

県生協連への常総市からの要請により、9月16日(水)より2週間、常総市災害ボランティアセンターの運営スタッフとしてご協力することになりました。派遣中は随時活動をご報告します。

常総市災害ボランティアセンターは、鬼怒川浸水災害の4日後の9月14日(月)に立ち上がり、災害支援ボランティアの受け入れを開始しました。初日は約200人、2日目は500人、3日目の9月16日(水)には個人600人、8団体310人、あわせて約900人のボランティア活動を行っています。現在の被災者支援の中心は家屋の掃除、ドロ払いです。床上まで入り込んだドロを書き出し、濡れて汚れたものを処分することです。高齢者のご家庭がとて多く、被災市民のみなさんに喜ばれています。

ボランティアセンターは朝8時半に運営スタッフの全体ミーティングで活動開始、9時からボランティアの受付開始で1日が始まります。初めて参加した朝のミーティングには約60名が参加していました。地元および県内市町村の社会福祉協議会、日本青年会議所、日本赤十字、いろいろなNPO団体のみなさんが集まっています。遠いところからは沖縄、愛知、神戸、広島からも方もいます。

9/17(2日目)

今日は終日雨のためボランティアの受け入れは中止、河川の増水の可能性もあるので中止と判断とのこと。雨の合間に、ボランティアセンターの運営の当面の課題を整理解決する日となりました。受付班、ニーズ班(被災者の要望を受け付け)マッチング班(受け付けた要請をグルーピング)、資機材班、駐車場誘導班、車輛班(作業場所への送迎)の7つのチームでそれぞれ3日間の運営で課題となったこと、2000人を想定するシルバーウィークでの受け入れ態勢の課題を検討しました。

私(佐藤)は車輛班に加わり活動をしています。運転ボランティアさんの確保、資材運搬用の軽トラックの確保、輸送用のマイクロバス、大型ワゴン車の確保など、準備することは多岐にわたります。シルバーウィークの期間中は、中妻町にまるボランティアセンターに加えて、北側の石下地区、南側の水海道地区の2か所にサテライト設け、3か所でボランティア受け入れを行うこととなりました。



#### 【ボランティアの受付風景】

<お問い合わせ>

茨城県生活協同組合連合会(担当 古山・原) Tel 029-226-8487 Fax 029-224-1842

Mail [ibkenren@ibaraki-kenren.coop](mailto:ibkenren@ibaraki-kenren.coop)

以上

